



新しい年を恵時にスタートさせることができました。
「飛躍」の三学期、目標を実現させ、有終の美を飾ってくださることを期待しています。

校長 佐藤 浩

明けましておめでとうございます。今年は十七日間と長い冬休みでしたが、事故や事件もなく、全校生徒がそろって元気に始業式を迎え、無事に新しい年をスタートさせることができました。昨年、コロナ禍の中ではありましたが、新宿西戸山中学校は、開校十周年記念式典を実施し、無事に終えることができました。二年ぶりに全校生徒が揃って式典に参加することができましたが、学校外部の多くの方々から生徒の参加する姿勢がとて立派であったとお褒めの言葉をいただきました。こうした生徒の様子から、先輩の力、良さが確実に受け継がれていると、とても頼もしく感じました。二〇二二年以降は、本校の先輩がこれまで創ってきた伝統の継承と更なる発展を目指し、全校生徒が力を合わせ、毎日を有意義に、そして、より力強く、過ごしていかなければならないと思っております。このことを改めて、全教職員と全校生徒、保護者や地域の皆様方で確認したいと思っております。さて、いよいよ三学期が始まりました。本校では三学期を教育目標の「飛躍」を目指し、位置づけ、進路を中心に学習活動を進める計画を立てています。「飛躍」とは、「夢や希望の実現を目指し、自らの可能性を信じて挑戦すること」です。このことを踏まえて、今年、特にこの三学期には、次のことを期待します。

中学生時代は、失敗を恐れずにイノシシのように猪突猛進、前を向いてまっすぐ突き進み、挑戦していくことが大切です。しかし、その挑戦を意味あるもの、価値あるものにするためには、あえて途中で立ち止まり、振り返ってじっくりと考え、改めてスタートを切ることも必要です。物事を進めるにあたっては、「受け入れる」「インプット」「自ら考える」「スループット」そして、「発信する」「アウトプット」の流れがあります。その中でも、「自ら考える」「スループット」を意識することがとても大切になります。現代は情報化社会です。様々な情報が溢れているからこそ、これらの情報を自ら取捨選択して、これは自分に必要な情報、必要な刺激であると認識したものを受け入れ、インプットし、その上で、自らしっかりと考え、スループットしていかなければならないのです。

新宿西戸山中学校では、生徒が主体となる学校を目指し、特に生徒会活動や学校行事などに力を入れて取り組んでいます。その取組の過程において、「自ら考える」「スループット」を重要視し、「なぜこの取組が必要なのか」「自分たちの生活を豊かにするために、どうしたらいいのか」などと、しっかりと考え抜いた上で、行動に移して欲しいと思っております。そして、そうすることを通して、全ての生徒が自主・自律の力を確実に身に付け、人としての総合力をより一層高めて欲しいと願っています。

1月22日(土) 吹奏楽部が東京スカパラダイスオーケストラとコラボします！

★「5G Connected City 西新宿2022 ～つながるまちと新たな生活～」オンライン開催イベント(観客なし)への本校生徒の参加のお知らせ

東京都は、5Gが実現する未来を語り、体感できる「スマートTOKYO推進ウィーク」を開催します。そのイベントの一つとして、5Gや先端技術がもたらす新たな生活を体感できる表記のオンラインイベントを開催します。イベント特設ページ上では、東京スカパラダイスオーケストラによる5Gを活用した遠隔音楽セッションを行います。なんと、このセッションに本校吹奏楽部が参加し、東京スカパラダイスオーケストラとコラボすることになりました。このような大変貴重な機会を本校吹奏楽部に与えてくださった関係者の皆様にも心より感謝申し上げます。生徒、保護者の皆様も、ぜひ、オンラインでお楽しみください。(※吹奏楽部の生徒は、感染対策を徹底して行った上で参加します。)

■開催概要(オンライン開催)

日時：令和4年1月22日(土曜日) 15時～15時30分

概要：特設ページにおけるライブ動画配信 ※本校吹奏楽部と東京スカパラダイスオーケストラとのコラボ(5Gを活用したリモートセッション)

特設ページ：<https://5g-connected-city.metro.tokyo.lg.jp>

校則検討委員会を開催し「廊下に出る時の上着の着用」について検討しました。



全校生徒の意見を説明する生活委員長のAさん

令和4年1月14日(金)金曜日に、第3回校則検討委員会が開かれ、「廊下に出る時の上着の着用」について検討しました。生徒代表として、生活委員長、副委員長、学年代表の皆さん、そして、生徒会本部役員の皆さんが参加しました。生活委員長のAさんが、事前にまとめた全校生徒の意見を説明し、そこに込められた思いや願いを伝えてくれました。Aさんが話す姿は、堂々としていて力強く、本当に立派でした。とても説得力あるものでした。原案として「教室外でブレザーを脱いで過ごすことを認める。」ことが提案されましたが、校則検討委員会の保護者部会、地域協働学校部会もこの提案に賛成の意思を示し、最終的に以下のように決定しました。

「教室外でブレザーを脱いで過ごすこと」の扱いについて

- 教室外でブレザーを脱いで過ごすことを認める。
- このことは、令和4年1月17日(月)から適用する。
- 令和4年1月17日(月)の全校朝会の場で、生活委員長から「校則検討委員会」における協議の様子、及びその結果を報告するとともに、これからの学校生活を送る上での留意事項等について呼び掛ける。
- 教室外でブレザーを脱いで過ごすことを認めたことによって、何らかの問題が生じた場合は、直ちに生活委員会が中心となって解決に向けた具体策を検討し、全校生徒で対応していく。

決定事項を全校生徒に伝える生活委員長のAさん(放送朝礼にて)



校則は、生徒が自らの安全や健康を守るとともに、生徒自身で検討したり、自ら進んで守ったりすることを通して、社会性を育んでいくという役割を担っています。なぜ、そのルールがあるのかという目的や意義、そのルールを守ることによって得られる効果などについて、生徒自身がしっかりと説明できる校則、そして、生徒自身が主体的に進んで守ろうとすることができる校則となるように、今後とも機会あるたびに、よりよい校則の在り方について、皆さん一人一人が自覚と責任をもって、しっかりと考えていってくれることを期待します。教職員もしっかりと考えていきます。

なお、校則はもとより、それ以外にも生徒会の各種委員会の活動や学級の問題の解決に向けた取組など、学校生活に係る全ての取組において、生徒自身で、なぜその取り組みが必要なのか考えたり、よりよい形はどんな形なのか考えたりして、より豊かなものへと改善していくことは、変化の激しい社会を生き抜いていく力を向上させていくことへとつながります。

これからは、どのようなことにおいても、すべての生徒が積極的に「自ら考える」ことを大切にしていってくださることを期待しています。

令和3年度 第20回 新宿区小・中学生俳句コンクール 15名が賞を受賞!

東京新宿ロータリークラブ主催の「第20回新宿区小・中学生俳句コンクールの授賞式が、令和4年1月17日(月)、新宿区教育センターにおいて開催されました。本校からは受賞した15名のうち、6名が出席しました。今年度は2、103句の応募があり、30句が受賞し、その内の半数の15句が本校生徒の作品でした。東京新宿ロータリークラブの皆様から「コロナ禍をもろともせず、ユニークで感性豊かな素晴らしい多くの作品に出会い、コンクールを開催する私どもが児童生徒たちからたくさんの励ましを受けていただきました。」とお褒めの言葉をいただきました。なお、本校生徒の頑張りにより、新宿西戸山中学校は「学校賞」をいただきました。校長として生徒に感謝するばかりです。ありがとうございます。そして、受賞おめでとうございます。

- ◎「最優秀賞」 2年C組 Bさん : 一人での 祖父の墓参り 「また来るね」
- 「優秀賞」 1年D組 Cさん : 流れ星 三度の願い 言えぬま
- 1年B組 Dさん : 頬染めて 君のそで引く 夏祭り
- 2年C組 Eさん : 夏の海 ひやりぼらの 貸しパラソル
- 3年A組 Fさん : 夏休み 「明日やろう」は 魔の誘い
- ・「入選」 1年B組 Gさん : クローバー 幸せなのは 探すとき
- 2年A組 Hさん : 夏祭り 夜空に響く 太鼓の音
- 2年B組 Iさん : 朝暑し 日陰を探す 通学路
- 2年B組 Jさん : 雨蛙 雨だ雨だと 嬉し泣き
- 2年B組 Kさん : 満月と カメラ越しに見る 現代人
- 2年D組 Lさん : しわのない 浴衣と帯が 寂しくて
- 3年A組 Mさん : 宛のない 誰かの手紙 流れ星
- 3年B組 Nさん : 宿題の 集中切らす セミの声
- 3年B組 Oさん : 夏休み 心折れても 受験生
- 3年C組 Pさん : 月光や 遠ざかる足の 短調

